

令和7年度事業 市議会はココに注目！

スクールキッズ・スクエアの試行実施

関連予算 2,586万9千円

希望する児童が自分の意志で自由に遊び、学ぶことができる放課後等の安全な居場所をつくるため、学校施設の一部を開放し、指導員が見守りや声掛けを行う「スクールキッズ・スクエア」の取り組みを試行実施する。



持続可能な地域まちづくりの支援

関連予算 5,573万1千円

各校区まちづくり協議会が持続可能で元気な地域づくりを進められるよう、新・校区まちづくり交付金制度の運用を開始し、若い世代等の多様な人の参画と地域力向上につながる主体的な取り組みの促進を図る。



がん患者の就労や社会参加の支援

関連予算 390万円

がんとの共生社会実現に向け、がん患者の就労や社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴うアピアランスケアとして、ウィッグや乳房補整具の購入にかかる費用の一部を助成する。



空家等の利活用・適正管理の促進

関連予算 2,206万9千円

空家等の解消による安全・安心なまちづくりや移住・定住の促進及び地域コミュニティの活性化につなげるため、管理不良状態の空家等や旧耐震基準の住宅等の除却費用や中古住宅の取得に関する補助制度を拡充する。



議会活動の記録

本会議
(1月22日、23日、2月21日、26日、27日、3月3日、27日)
議会運営委員会
(1月21日、23日、2月10日、13日、27日、3月26日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会（総務分科会）
(1月22日、3月17日、18日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会（建設産業分科会）
(3月13日、14日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会（文教分科会）
(3月7日、10日)
健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会）
(1月10日、22日、3月11日、12日)

予算決算常任委員会（全体会）
(1月23日、3月3日、24日)
予算決算常任委員会（理事会）
(1月21日、23日、2月13日、27日、3月21日)
各派代表者会議
(1月24日、2月10日、3月24日、26日)
議会だより編集委員会
(2月21日、3月27日)
意見書調整会議、幹事長会議
(3月25日)

3

令和7年
3月定例会

令和7年3月市議会定例会を、2月21日から3月27日まで開会しました。

1日目に市長から市政運営方針の説明があり、2～3日目に代表質問、4日目に個人質問を行い、市政全般について質問しました。また、令和7年度当初予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査しました。

最終本会議では、議案に対する討論の後、人事議案等を追加上程し、すべての提出議案を可決・同意しました。

CONTENTS

- もくじ -

- P4** 代表質問
- 大阪維新の会/公明党/八尾保守の会/八尾の未来を紡ぐ会/
新声/日本共産党
- P8** 個人質問
- 木村健二議員/坂本尚之議員/西田尚美議員/南方武議員/
柴谷匡哉議員/田中裕子議員
- P10** 委員会審査の概要
- P12** 所管事務調査の報告
- P14** 議決結果 請願審査結果 6月定例会の予定

ホームページへのアクセス

発言通告



議会映像



議決結果



Topic!

議会提出の「八尾市手話言語条例」を制定

3月市議会定例会の最終本会議に、同条例案を上程し、全会一致で可決しました。

QRコードから、同条例の全文を見ることができます。



制定までの経過

平成23年に障害者基本法が改正され、手話が言語として広く認められたものの、いまだ手話に対する理解の広がりを感じるに至っていないことから、市議会では、八尾市手話言語条例の制定に向け、協議を重ねるとともに、障がい者団体や学識経験者との意見交換を行いました。

条例素案に対するパブリックコメントを実施し、43名の方から計150件のご意見をお寄せいただきました。頂いた様々なご意見を踏まえ、議会として条例案を提出しました。

条例の内容

「手話は言語である」との認識のもと、手話及ろう者に対する理解の促進と手話の普及についての基本理念を定めています。

また、市の責務や市民・事業者の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策推進の基本事項を定めることで、ろう者とろう者以外の者が共生することができる地域社会の実現をめざすものです。

手話であいさつ

ありがとう

